

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	年 月 日		～	年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業者評価実施期間	年 月 日		～	年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～	年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校・保護者・事業所の三者連携を大切にした支援体制	訪問後に学校と情報共有を行い、保護者へも支援内容を報告している。 学校生活の課題を家庭や事業所支援につなげている。	保育所等訪問支援に関する外部研修や事例検討会への参加を増やす。
2	児童一人ひとりの特性に合わせた個別支援	アセスメントをもとに学校での困り感や強みを把握している。 子どもの特性や環境に応じた具体的な支援提案を行っている。	支援内容や学校との連携状況をより分かりやすく伝える機会を増やす。
3	訪問先施設との良好な関係づくり	学校の方針を尊重しながら支援を実施している。 担任や支援員が相談しやすい関係づくりを心掛けている。	協議会や関係機関との連携を深め、支援体制の充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業開始からの実績がまだ少ない	保育所等訪問支援事業を開始して間もなく、事例の蓄積が十分ではないため。	職員研修計画を整備し、専門性向上を図る。
2	職員研修の機会が限られている	保育所等訪問支援に特化した研修機会が少なく、体系的な学びの場が不足しているため。	保護者への報告や情報発信を充実させ、支援内容の見える化を進める。
3	保護者への周知不足	支援内容や学校との連携状況が保護者へ十分伝わっていない部分があるため。	地域の関係機関や学校との連携を継続し、より質の高い訪問支援につなげる。